

Alma Mater

白 陵

第16号

平成8年4月20日発行

発行 白陵会

〒676 高砂市阿弥陀町阿弥陀2260

TEL. 0794 (47) 1675(代)



30周年記念誌より

白陵会総会

8月10日(土)開催

白陵会会員の皆様、お元気で御活躍の事とお慶び申し上げます。会報も本号で第十六号となります。広報委員会各位と学校事務局の御尽力により、今回もこの様にAlma Mater白陵が皆様のお手元に届けることができ、会の活躍の様子、母校の近況などをお知らせすることができました。

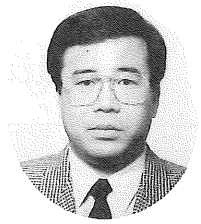
今回の会報は白陵会総会のご案内が中心となっております。

白陵会総会は五年に一回開催されることになっており、本来は昨年に開催される予定でありましたが、第十五号会報でお知らせいたしましたように、阪神淡路大震災の被害状況を鑑み、ひとまず延期となっておりました。

前回の総会は母校にて開催し、盛会でありましたが、今回の総会につきましては、前回とは少し趣も変え、交通至便な所での開催を計画しております。

懐かしい恩師、友人との出合いを再び蘇らせてくれる白陵会総会に出席してみても如何でしょうか。

今一度若き情熱溢れた日々を思い起こしていただきたいと思います。



総会でお待ちしています

白陵会 会長 沼田 好道

春たけなわの候、会員の皆様方におかれましてはますますご隆昌のことと拝します。
また、平素は本会活動にご理解・ご協力を賜り誠に有難うございます。

未曾有の大震災からはや一年が経過しましたが、被災地にお住まいの方々におかれましてはその後いかがお過ごしでしょうか。ごいまいましようか。

ご苦勞も多いことと存じますが、どうか頑張ってください。

さて、延期しておりました白陵会総会を来る八月十日(土)、ホテルサンガーデン姫路において開催することになりました。

日時は夏休みのお集まりいただきやすい日を選び、会場は交通の便の良い姫路駅南口に面したホテルにしましたので、同期やクラブなど親しいお仲間同士、多数お誘い合わせの上、お集まりいただきますようお願い申し上げます。

また、総会に向けては、校友(十五期生)の写真家・宮嶋茂樹氏の講演会、懐かしい母校を紹介するビデオ上映や和氣満々に語っていただく楽しい懇親会など、総会準備委員会で鋭意準備を進めております。

どうかお気軽にご出席いただきましてお懐かしいお顔が多数揃いますようお願いいたします。

母校も発展の一路を辿り、今や兵庫の白陵と言えは不動の名門校として広く全国に名を馳せています。

同窓会としても誠に嬉しいかぎりですが、更なる発展を続ける母校に今後とも精一杯の援助をしてみたいと思っております。

その意味におきましても八月の総会はずいぶん成功させたいと思っておりますので、会員諸氏のご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様方の今後ますますのご活躍をお祈りしご挨拶いたします。



ごあいさつ

学校長 八木 誠造

同窓生のみなさんには、お元氣にてお過ごしのことと存じます。日ごろは何かとご支援をいただき感謝に堪えません。ありがたく思っております。

いまや卒業生の総数も五、一〇八名を数えることとなり、ついに五千の大台を越すことになりました。これこそ一大勢力だといえましょう。しかもそれぞれの方がそれぞれの分野で、刮目すべき活躍をされております。その業績も目覚ましいものがあり、心強い限りだと思っております。

ひるがえって在校生の諸君もよく学びよく遊び、元氣一杯ということでしょう。

この間もこんなことがありました。

中学二年生のA君は、通学途上電車内の一枚のポスターが欲しくなり、ついそれを失敬しました。友だち三人が制止したのですが、それを振り切ったようです。そのポスターにはペーターペンを描いた図柄がありました。多分その肖像画が気に入ったのでしょう。

ところがこのあとご丁寧にもA君は、その代わりのものを掲示することを思い付きました。早速レポート用紙を取り出して、次のような文言を書き加えました。「ペーターペン頂いた——怪盗D」というのです。Dというのは、そこにいた友だちの一人の名前の頭文字です。三人の友だちもこれには賛意を表していたからです。

このようなことが分かるようになったのは、乗客の一人の方からの通報によるものです。

こうなると悪ふざけもいい加減にしろといいたくなります。JRに謝りにいくやら先生も大変でした。私がA君にいろいろ話をしたことはもうありません。

それはそうと、ことは同窓会の総会が開かれる年です。八月十日(土)です。是非ご出席賜りますようお願いいたします。

大学入学試験合格者数

国公立大学					私立大学				
大学名	6年	7年	8年		大学名	6年	7年	8年	
東京大	17	37	31		早稲田大	24	30	31	
京都大	10	24	16		慶応大	20	34	28	
大阪大	30	39	14		上智大	1	2	2	
神戸大	12	12	11		中央大	6	2	2	
北海道大	6	5	5		東京理大	11	12	4	
東北大	5	1	1		青山学院大		1	1	
一橋大	4	9	7		関西学院大	21	16	23	
筑波大		3	2		関西大	9	8	10	
東京工大	1	2	1		同志社大	28	16	17	
横浜国大	6	5	3		立命館大	8	17	17	
岡山大	6	6	6		大阪医大	3	1	2	
広島大	4	1	4		兵庫医大	2		4	
九州大	2	3	1		大阪薬大	2	2	1	
大阪市大	4	3	5		京都薬大	1	2	5	
大阪府大	6	5	4		神戸薬大	3	3	4	
その他	46	45	45		その他	30	31	36	
合格者計 (内医学部)	159 (24)	200 (16)	156 (15)		合格者計 (内医学部)	169 (7)	177 (5)	187 (16)	

白陵会役員名簿

役名	期	氏名	役名	期	氏名	役名	期	氏名
会長	3	沼田 好道	常任幹事	9	中沢 賢悟	常任幹事	30	石川結香子
副会長	1	森本 勝行	〃	11	志方 正彦	〃	31	酒井 雅史
〃	3	天野 泰文	〃	12	若松 修	〃	31	木下 智晴
〃	6	上田 喜裕	〃	13	水田 堅	校内幹事	1	芳木 健憲
理事	1	芝本真須美	〃	14	片山 安孝	〃	2	大内 義博
〃	1	武田久美子	〃	16	谷口 泰司	〃	3	長濱 憲雄
〃	2	川副 義文	〃	17	岡野 清和	〃	3	黒田 洋
〃	2	名倉 正明	〃	18	秋田 直樹	〃	4	原田 正和
〃	2	湖中 明憲	〃	19	牛尾 英樹	〃	6	福井 孝昌
〃	3	神吉 裕資	〃	20	山内 正嗣	〃	11	小紫 一貴
〃	4	森崎 晴友	〃	21	河合 恵介	〃	11	宮崎陽太郎
〃	10	吉田 達哉	〃	21	中谷 泰健	〃	12	畔上 昇
〃(会計)	10	加藤 雅宣	〃	22	新田 智弘	〃	12	山口 透
〃(書記)	10	下村 康夫	〃	23	三木 健史	〃	12	中村 大吾
〃	12	奥野 昌三	〃	23	中里 寛	〃	14	久保 博彦
会計監査	6	大崎 章快	〃	24	奥本 光廣	〃	15	村上 幸生
〃	15	町田 直隆	〃	24	藤原 省悟	〃	15	西 善弘
常任幹事	1	伊藤 達也	〃	25	多根 正明	顧問	理事長	三木 一正
〃	1	正井 和野	〃	26	池田 宗弘	〃	校長	八木 誠造
〃	4	鎌田 芳寛	〃	27	山田 将義	〃	最高幹事	濱田 忠彦
〃	5	塩崎 育男	〃	28	柿本 晴彦	〃	教頭	中安 久隆
〃	7	萩本 義郎	〃	28	松本 守弘	〃	1	遠山 寛
〃	8	山戸 敏彦	〃	29	川田 雅彦	〃	1	黒坂 康夫
〃	8	黒川 仁	〃	29	長濱 道治	〃	1	黒川 芳一
〃	9	貞広 始	〃	30	上新 貴弘			

8月10日(土)開催

'96白陵会総会

■日時 平成八年八月十日(土)

■会場 ホテルサンガーデン姫路

3階光琳の間

■会費 八、〇〇〇円

●受付開始 午前十時三〇分

●総会

十一時より十一時二〇分

●講演会

十一時二〇分より十二時

講師 宮嶋茂樹氏 (十五期生・写真家)

演題 「不肖・宮嶋奮戦記」

―特派カメラマンの現場報告―

●懇親会

十二時より十四時三〇分終了予定

※当日はできるだけ車はご遠慮下さい。

※出欠は五月二十日(月)までにご連絡下さい。

※会費は当日受付で頂きます。

会場案内

ホテルサンガーデン姫路

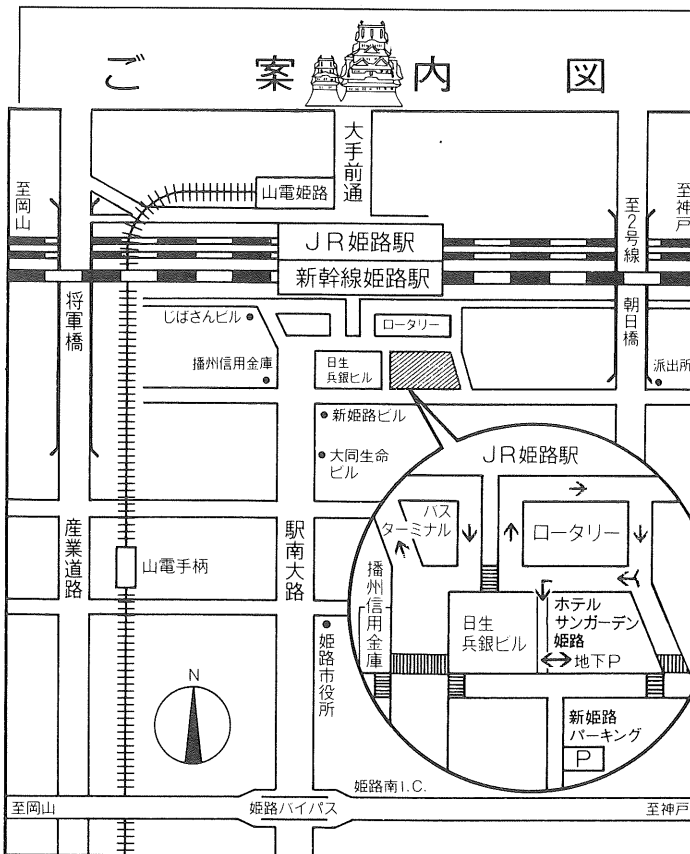
〒670 兵庫県姫路市南駅前町一〇〇番

電話(〇七九二)二二一三三三

■交通 JRR(山陽新幹線・在来線) 姫路駅南口すぐ

山陽電鉄姫路駅より徒歩五分

姫路バスパス姫路南インターチェンジより車で三分



白陵会総会

宮嶋茂樹氏(十五期生)講演



昭和二十六年
兵庫県明石市生まれ。

現在東京都在住。昭和四十九年、白陵中学入学。昭和五十五年白陵高校卒業(十五期生)、同年日本大学芸術学部写真学科入学。昭和五十九年大学卒業、講談社フライデー編集部専属カメラマン、昭和六十二年以後フリーカメラマンとして「週刊文春」等で活躍され現在に至る。

著書に「人間赤尾敏」(話の特集社刊)、「ああ堂々の自衛隊」(クレスト社刊)、「不肖・宮嶋史上最低の作戦」(太田出版)、「陸・海・空・婦人自衛官写真集自衛隊LADIES」(スコラ)

盛りだくさんの

懇親会

■ビデオ「懐かしの母校」

上映(二〇分〜三〇分)

■恩師挨拶、

各期代表挨拶など e t c。

出欠のご返事は、
同封のハガキで5月20日
までにお知らせ下さい。

※欠席の方も、次回名簿作成資料
と致しますので、ご住所をご記
入の上、必ずご返信下さい。

白陵軍団全員集合(9)

りょうゆう会ゴルフ軍団

(気がねなく楽しくゴルフと宴会をする会)



ゴルフの好きな人、ゴルフの上手な人、
 ゴルフはそれなりの人、ゴルフは全く関係なく
 19番ホール(宴会)が好きな人

黒坂康夫(1期) 湖中明憲(2期)

沼田好道(3期) 天野泰文

(3期)を代表世話人とし年1回のゴルフコンペ、その他懇親会等を実施しております。

年々、輪が広がっており昨年は独断と偏見で案内し、1期から

17期までの17組68名の参加を賜り、ストークヒルゴルフクラブ

(副総支配人 2期 安水恭徳)

に於いて盛大に開催。

先輩、後輩、年の差なんてノットプレブルム。白陵スピリットの

団結心で、異業種間の交歓と友情を深める場として参加者の協力のもとアットホームな雰囲気

で盛り上がっております。

今年白陵会総会(8月10日)の年度ですので景気づけでコン

ペを下記の予定で開催します。気の合った学友と共にぜひご参

加を！参加することに意義があ

り、青春の灯を、学園を回顧し

つつ、レッツエンジョイ！

あなたの24時間をグリーン上に、ネオン街に預けませんか。

カナラズ約束します。スカットさわやかリフレッシュできるこ

とを！

りょうゆう会

大ゴルフコンペ

(総会の成功に向けて)

場所

ストークヒルゴルフクラブ

(兵庫県赤穂郡上郡町)

日時

8月1日(木)

詳しい事はゴルフコンペ事務局までお願いします。

ゴルフコンペ事務局

加古川市平岡町新在家1-1-7

昭和住宅株式会社内

TEL

0794-231-0064

FAX

0794-231-1515

白陵今昔物語(10) 卒業記念品

皆さんは、卒業時に私達が記念として学校へ寄贈した品々をご存知でしょうか。昭和四十一年卒業の第一期生から今春卒業した三十一期生まで、別表の通りの品々が記念品として学校に贈られています。

長い年月を経て、中には老朽化してしまった品物もありますが、何れの品々も当時在校していた後輩諸君の学校生活に役立ったものばかりです。

卒業記念品贈呈は、卒業式当日、送辞・答辞に続いて卒業生代表が校長先生へ「○○○○一式、右、卒業記念として寄贈いたします」と目録を贈呈し、寄贈を受けた校長先生が「卒業後も、第○期生諸君を偲ぶ縁として大切にします」と謝辞を述べられる形態で厳粛にとりおこなわれるものです。



しかしながら、記念品の選定の経緯を我々はよく知らないこともあり、また自分たちの手で作ったものでもありませんので、具体的にあまり知られていないのではないのでしょうか。

記念品は、卒業生一人当たり約一百万円の予算の範囲内で、その当時、学校に必要な物の中から先生方が相談し選ばれているようですが、一覧表を見ての通り庭園や視聴覚機材などが中心となっており、中には二年がかりで完成した庭園もあります。

皆さん方も、そういえばあれがそうかと思いつくものばかりではないでしょうか。今では立派に整備され、校舎の前景として欠くことのできない存在となっている三角公園(校舎の前庭で小さな三つの池のある庭園)も当初は故園長先生の発案で整備されたものだそうですが、複数の卒業記念品を積み重ねることによって今のような形に至っており、ここにも三十一年の歴史、伝統を感じる次第です。

私達の足跡が偲ばれる卒業記念品、ぜひ母校訪問の折には見て下さい。

期	卒業年	卒業記念寄贈品名
1期生	昭和41年	水銀灯5基
2期生	昭和42年	グラントピアノ1台
3期生	昭和43年	体育館暗幕一式
4期生	昭和44年	水銀灯5基
5期生	昭和45年	国旗掲揚塔一式、拡声器2台
6期生	昭和46年	16ミリ映写機1台
7期生	昭和47年	庭園灯2基
8期生	昭和48年	照明器具3対
9期生	昭和49年	舞台幕1対
10期生	昭和50年	車廻し一式
11期生	昭和51年	車廻し一式
12期生	昭和52年	三角庭園一式
13期生	昭和53年	三角庭園一式
14期生	昭和54年	散策公園一式
15期生	昭和55年	散策公園一式
16期生	昭和56年	屋外手洗所一式
17期生	昭和57年	ビデオ機材一式
18期生	昭和58年	国旗掲揚塔一式
19期生	昭和59年	緞帳一式
20期生	昭和60年	前庭整備一式
21期生	昭和61年	音楽室ピアノ、音響設備一式
22期生	昭和62年	運動場・体育館放送設備一式
23期生	昭和63年	有田焼 染錦地文花鳥図八角大壺一本
24期生	平成元年	グラントピアノ1台、視聴覚機材
25期生	平成2年	ビデオプロジェクト装置一式
26期生	平成3年	テント拾張り他
27期生	平成4年	校旗一旗
28期生	平成5年	ビデオライブラリー一式
29期生	平成6年	庭園灯一式
30期生	平成7年	校章の碑1基
31期生	平成8年	新音楽室視聴覚機材一式

白陵会東京支部準備中

みんな、集まれ!

「今、東京に一体何人の白陵卒業生が生活しているのでしょうか?」

高砂市の白陵から播州地方の白陵へ、播州地方の白陵から兵庫県の白陵へ、兵庫県の白陵から日本の白陵へと、今や、我が白陵の知名度も全国区となりました。世界のビジネスを演出する、ここ東京でも、『白陵』の名が急激に浸透してきました。うれしい限りです。そして、知名度の浸透と共に、我々の愛校心もより一層深まってくるものです。「東京にも白陵会の輪を!」...我々の長年の願いを今こそ実現させたく、白陵会東京支部設立準備委員会を設置いたしました。東京在住のみならず、ともかく我々に連絡ください。まずは、東京の夜を共に飲み明かすことから始めませんか。左記までご連絡ください。懇親会の日時は追ってご連絡いたします。

白陵会東京支部設立準備委員会

①河井 一彦(12期)

渋谷区代々木4-23-5

☎03(5227)9162

(勤務先) 三井物産(株) 4058845

②中原 亨(12期)

練馬区春日町3-13-202

☎03(3522)2850

(勤務先) 三井物産(株) 4058845

白陵会ニュース

白陵会物故者

(慎んでご冥福をお祈りします)

長尾 武氏 (4期生) 平成七年七月死去

黒岩 芳朗先生 平成七年八月死去

松原 猛先生 (旧職員昭40~50年在職・社会) 平成七年八月死去

藤原 宏樹氏 (旧職員昭42~51年在職・国語) 平成七年九月死去

福永 利一先生 (旧職員昭41~49年在職・数学) 平成七年十一月死去

三宅 秀行氏(25期生) 平成七年十二月死去

退職職員紹介

木良八洲雄先生

昭和57年~14年間勤務 社会科

後藤 明先生

平成2年~6年間勤務 事務

実松美知夫先生

昭和56年~15年間勤務 運転手

校内人事

理科(生物)の担当で、進路指導部長を経て、平成5年度から教頭補佐を勤められていた中安久隆先生が平成8年度より教頭に就任されることになりました。

第三十一回卒業式

二月十日、卒業式が挙行され、新たに一九二名が巣立っていきましました。白陵会では新しく会員となる卒業生全員に特製のファイルノートを贈り祝意を表しました。

白陵会では中安新教頭先生に同窓会顧問をお願いしました。なお、前任の濱田忠彦先生は最高参事として今後も先生方の相談役を務められると共に、引き続き国語の教鞭をとられます。

編集後記

「総会特集号」いかがだったでしょうか。

編集会議で前回の総会写真を選んでいると6年という時の長さに驚かされます。ついこのあいだのこの様に思えるのに写真は正直です。髪型の変わった人、体型の変わった人、また急逝された先輩……。みなさんも、また白陵も確実に年を重ね6年前とは違っています。ぜひご出席ください。

総会で講師を務める宮嶋茂樹氏は白陵十五期生、同じ学び舎を巣立った仲間がどんな刺激的な話をしてくれるのかとても楽しみです。また川副、岡野両校内幹事編集によるビデオ「懐かしの母校」はきっとみなさんを生徒時代へと連れていってくれる筈です。ぜひご出席ください。

総会準備委員会をはじめとする卒業生による手作りの総会です。ぜひご出席ください。

場所は「ホテルサンガーデン姫路」。

※会員より寄せられた阪神・淡路大震災義援金は、高・中生の学費免除をはじめとする、被災生徒救援の資金の一部に充てられました。

白陵会 平成7年度決算書

【収入の部】

科目	7年度決算額
前年度繰越金	16,719,748
会費収入	2,882,000
終身会費	2,880,000
臨時会費	2,000
寄付金収入	55,000
会費外収入	235,659
名簿収入	7,000
広告収入	0
利息収入	228,659
雑収入	0
総会積立金繰入収入	0
阪神淡路大震災義援金	80,000
合計	19,972,407

【支出の部】

科目	7年度決算額
事務費支出	23,450
消耗品費	0
印刷費	0
通信費	23,040
支払手数料	410
雑費	0
会議費支出	115,252
理事会費	0
役員会費	76,595
委員会費	38,657
事業費支出	1,015,393
総会費	29,315
名簿発行費	35,895
会報発行費	826,976
卒業記念品費	0
慶弔費	123,207
備品費支出	0
渉外費支出	0
阪神淡路大震災義援金	2,050,000
予備費支出	0
小計	3,204,095
総会積立金	250,000
次年度繰越金	16,518,312
合計	19,972,407